



第16回日本リーグ

男子

大同特殊鋼に7年ぶりの栄冠

女子

大崎電気が5連覇を飾る

■第16回日本リーグ成績表(前期：1991年10月26日～12月1日、後期：1992年1月11日～2月23日)

(1部男子)	湧永	日新	大同	本田	大崎	中村	三陽	三景	勝 数	分 数	敗 数	勝 点	総 得 点	総 失 点	差	順 位
湧永製薬		●25 ●16	●22 ●26	●22 ●19	○24 △21	○30 △25	○26 △21	○36 ○30	5	3	6	13	313	330	13	4
日新製鋼	○29 ○22		●19 ●25	○17 ●22	△26 ○20	○22 ○24	○28 ○31	○28 ○31	10	1	3	21	344	290	54	2
大同特殊鋼	○29 ○28	○24 ○26		●21 ○23	○29 ○26	○32 ○29	○26 ○28	○29 ○36	13	0	1	26	386	317	69	1
本田技研鈴鹿	○24 ○21	●15 ○26	○22 ●18		●19 ○27	○24 ●21	○29 ○19	○31 ○31	10	0	4	20	327	284	43	3
大崎電気	●22 △21	△26 ●15	●26 ●23	○22 ●16		○25 ●20	○29 ●29	○25 ○33	5	2	7	12	332	320	12	5
中村荷役運輸	●28 △25	●20 ●19	●24 ●19	●20 ○24	●20 ○23		●19 ○25	○31 ○34	5	1	8	11	331	336	-5	6
三陽商会	●24 △21	●22 ●21	●24 ●27	●22 ●14	●19 ○31	○29 ●16		○31 ○26	4	1	9	9	327	344	-17	7
三景	●20 ●16	●18 ●17	●18 ●24	●24 ●18	●20 ●15	●17 ●22	●16 ●18		0	0	14	0	263	432	-169	8

(1部女子)	大崎	大和	オムロン	北国	シャトレ	日立	勝 数	分 数	敗 数	勝 点	総 得 点	総 失 点	差	順 位
大崎電気		○35 ○32	○20 ●27	●27 ○30	○21 ○25	○32 ○29	8	0	2	16	278	225	53	1
大和銀行	●21 ●20		●12 ●17	△25 ●20	●13 ●17	○26 ●21	1	1	8	3	192	280	-88	5
オムロン	●15 ○29	○26 ○30		○30 ○27	△24 ●16	○28 ○25	7	1	2	15	250	187	63	2
北国銀行	○28 ●26	△25 ○36	●16 ●16		○19 ○31	○28 ○35	6	1	3	13	260	250	10	3
シャトレーゼ	●17 ●20	○28 ○22	△24 ○19	●13 ●25		○22 ○22	5	1	4	11	212	200	12	4
日立栃木	●23 ●26	●22 ○24	●19 ●17	●21 ●32	●21 ●13		1	0	9	2	218	268	-50	6

(2部男子)	トヨ自	本田熊本	電装	竹芝	大ガス	トヨタ車	豊田織機	日鉄	勝 数	分 数	敗 数	勝 点	総 得 点	総 失 点	差	順 位
トヨタ自動車		△24 ○29	○33 ○26	○35 ○27	○26 △24	○29 ○32	○31 ○34	○34 ○31	12	2	0	26	415	301	114	1
本田技研熊本	△24 ●17		●24 ○27	△21 ○37	○28 ○36	○33 ○19	○28 ○25	○40 ○28	10	2	2	22	387	295	92	2
日本電装	●22 ●15	○28 ●26		○28 ●19	○28 ○24	●20 ○32	○22 ○27	○34 ○29	9	0	5	18	354	332	22	3
竹芝精巧	●25 ●24	△21 ●20	●26 ●29		○31 ○30	●21 ●25	●23 ○29	●25 ○34	5	1	8	11	363	364	-2	5
大阪ガス	●24 △24	●17 ●22	●20 ●20	●28 ●22		●21 ○23	○25 △25	○33 ●21	3	2	9	8	325	365	-40	6
トヨタ車体	●22 ●21	●21 ●17	○22 ●21	○25 ○27	○31 ●22		○25 ●20	○29 ○35	7	0	7	14	338	345	-7	4
豊田自動織機	●21 ●20	●17 ●15	●21 ●23	○24 ●27	●20 △25	●21 ○22		●25 ○30	3	1	10	7	311	368	-57	7
日鉄建材工業	●22 ●20	●19 ●19	●18 ●22	○27 ●17	●17 ○23	●23 ●24	○28 ●26		3	0	11	6	305	428	-123	8

(2部女子)	ブラザー	ジャスコ	ソニー	JUKI	ムネカタ	勝 数	分 数	敗 数	勝 点	総 得 点	総 失 点	差	順 位
ブラザー工業		●16 △19	●12 ○18	○24 ○23	○22 ○23	5	1	2	11	157	140	17	2
ジャスコ	○29 △19		○37 △25	○25 ○29	○34 ○32	6	2	0	14	230	133	97	1
ソニー国分	○14 ●15	●22 △25		○17 ○19	○30 ○21	5	1	2	11	163	151	12	3
JUKI	●16 ●19	●7 ●17	●13 ●17		○19 ○31	2	0	6	4	139	164	-25	4
ムネカタ	●13 ●15	●14 ●13	●15 ●14	●15 ●12		0	0	8	0	111	212	-101	5

男子1部

第1週第1日(1月11日)
相模原市総合体育館

日新製鋼 31
15 10
16 11

〔戦評〕後期、逆転Vに向けて好スタートを切りたい日新製鋼と上位浮上のきっかけをつかみたい三陽商会の一戦は、立ち上がりから完全な日新ペース。GK宇田川の好キープから次々と得点を重ね終始リード。

後半に入っても波に乗れない三陽に対し、次々と得点を重ねる日新が快勝。逆転Vに向けて弾みをつけた試合であった。

得000531203601	原橋川嶋原坪辺藤田中。藤
〔三藤高濱飯小大渡佐濱田F近	
(0)	21

G K	F P	審・川	田口
〔新原川田田山斐村田口中内			
〔篠宇堀武西甲木池坂野源			
得001532081353			
(3)	31		

第1週第2日(1月12日)
尾花沢市文化体育館

中村荷役 24
10 8
14 13

〔戦評〕前半は一進一退の攻防をくり返し、スピードを競いあつて

きたが、中村が前半終了間際にチャンスをつかみ2点をリードした。後半は本田も調子を上げ、9分過ぎには12-12の同点に追いつきいったんは13-12と逆転したが、中村・朴が頑張り、5点を連取して再逆転、終盤粘る本田をふり切った。

得002040511035
本田木本羽井木村藤塚基口松村

〔本高橋丹藤立福内大梅田平山

G K	F P	審・岡本	清水
〔中石井田大八元高岩栗田			
得005052320601			
(2)	24		

〔井上口沼尾島木戸原中〕
得005052320601

湧永製薬 30
11 9
19 7

〔戦評〕後期に対する湧永の闘志は、試合開始時から高まっていた。玉村も出場、湧永が先行し着

得00315400003
景村井藤橋井田山橋野野士

G K	F P	審・大河原	池田
〔永藤田卷村田井沢取塚田本中			
得00442228344014			
(2)	30		

〔湧井多酒玉堀新長荷兼奥松田〕
得00442228344014

実に加点していった。一方、三景も善戦、前半を11-9と2点差で食いつかる。後半、地力に勝る湧永が全員ムラなく得点、5連続得点などで一方的にリードを広げて三景を大差で破った。

第1週第2日(1月12日)
大分県総合体育館

大 同 26
14 12
13 10

〔戦評〕両チームとも軽快な動きでスピーディな試合展開となった。先取点は大同・末岡のデイフェンスの間を抜くシュート。以後、大同は盧を中心にボールを回し、朝生のサイド、盧のステップで得点を重ねる。それに対し、大崎は大同の早いツメに苦しめられながらも、カットイン、宮下のミドルで対抗する。大同・佐藤の退場を機に、大同のシュートミスにも助けられ、大崎が一時同点に追いつく。しかし、大同も佐藤から盧へのスカイプレー、朝生のサイドシュートでリードし、前半を12-10と大同の2点リードで折り返す。

後半、互角の立ち上がりを見せながらも大崎・柏崎の退場、シュートミスからじわりじわりと大同が点差を広げ、一時6点差にまで開いた。終盤、大崎も必死に追い上げた。逆に大同がシュートミスを重ねる間に2点差にまで追い上げたが、大同もたて続けに速攻を決め結局3点差で大崎をふり切った。

〔大崎〕 001012901009
〔渡矢大珍武首魚甲山柏土宮〕

得001012901009
〔大崎〕 001012901009
〔渡矢大珍武首魚甲山柏土宮〕

第2週第1日(1月19日)
市川市民体育館

大 同 23
13 11

〔戦評〕前半、大同・林、盧らの活躍によりリードを広げるも中盤25分過ぎより連続4点で追いつくかに見えたが、10-7と大同の3点リードで折り返す。

後半、大同・林の立ち上がり連続3得点の活躍もあり、大崎はもう一步追い切れずに試合を終えた。得000143311104
〔本高橋丹藤立福内大梅田平山

後半、開始早々大崎は退場者を出し苦しくなると思われたが、そこから20分までデイフェンスを堅め、速攻につなげて同点に追いつ

得005213503101
〔湧井多酒河玉堀新長荷兼松田

G K	F P	審・小	林
〔大崎〕 001012901009			
〔渡矢大武首魚甲山柏土宮〕			
得00111531000061			
(5)	21		

〔大崎〕 001012901009
〔渡矢大武首魚甲山柏土宮〕

いた。残り10分はお互いあるだけの力を出しきり一進一退の攻防が続く。ラスト30秒で大崎・魚住のシュートが決まり21-20で勝負あつたかに見えたが、湧永も意地を見せてラスト10秒で新井のサイドが決まり21-21の同点で終了した。

第2週第1日(1月19日)
神戸中央体育館

大 同 18
13 11

〔戦評〕前半、大同・林、盧らの活躍によりリードを広げるも中盤25分過ぎより連続4点で追いつくかに見えたが、10-7と大同の3点リードで折り返す。

後半、大同・林の立ち上がり連続3得点の活躍もあり、大崎はもう一步追い切れずに試合を終えた。得000143311104
〔本高橋丹藤立福内大梅田平山

後半、開始早々大崎は退場者を出し苦しくなると思われたが、そこから20分までデイフェンスを堅め、速攻につなげて同点に追いつ

得005213503101
〔湧井多酒河玉堀新長荷兼松田

G K	F P	審・馬	場
〔大崎〕 001012901009			
〔渡矢大武首魚甲山柏土宮〕			
得00111531000061			
(6)	23		

〔大崎〕 001012901009
〔渡矢大武首魚甲山柏土宮〕

- 2 -

するが、すぐに中村が2連取、一進一退の立ち上がりを見せる。しかし、中盤から日新GK宇田川の好守が目立ち、じりじりとリードを広げて15-8として前半を折り返す。

後半に入り、中村もGK井上の好守、呉を中心とした攻撃で追い上げを図るが、前半の点差が大きく、届かなかった。

得0015104080000
村井上 尾島木戸 中原中
村井上 朴 尾島木戸 田栗田
〔石井田 八元高井 田栗田〕

GK F P [審・小屋林]

新川田山斐 村田口中内
日谷田 林
得0042220200453
〔宇堀武西甲 木池坂野源〕

第3週第2日 (1月22日)
東京体育館

三陽商会 26 [13-11] 18 三 景

〔戦評〕試合開始から、両チームともスピードとガッツあふれるプレーで一進一退の攻防をくり広げ場内を沸かせた。やや攻守でミスが多い三景に対し、三陽商会はPT、三景ディフェンスが4人になるパワープレーなどで一歩リード前半は13-11と2点差で折り返した。

後半、疲れが見える三景ディフェンスに次々とシュートを放った

三陽が着実に点差を広げ、26-18で逃げ切った。

得004380000000003
景村井藤橋井田山橋野野藤土
〔三石齊高金清小高小吉近福〕

GK F P [審・三田辻]

陽川橋川鳴原坪辺藤田中藤井
得00192005036000
〔宇高濱飯小大渡佐濱田近桜〕

第3週第4日 (1月26日)
栃木市総合体育館

大 同 13-7 19 中村荷役
特殊鋼 29 16-12 運

〔戦評〕両チームともに好スタートを切るも前半なかばに中村荷役に空白の時間があり、その間に大同・盧がかため打ちしてリードを広げ、13-7と6点をリードして前半を折り返す。

後半の立ち上がりも依然として大同ペースで、一気に7点を連取、勝負を決定づけた。8分以後は中

得0042221080000
村井上 尾島木戸 中原中
〔石井田 八元高岩 田栗田〕

GK F P [審・大山]

同吉藤村生 取 岡藤萬村
得0013090572220
〔大秋 内高朝 盧 名 末佐阿宇〕

村も互角の展開を見せたが、すでに点差が大きく広がっており及ばなかった。

第3週第1日 (1月26日)
山口県スポーツ文化センター

湧水製菓 21 [9-13] 8 21 三陽商会

〔戦評〕前半、三陽は速攻を中心に、湧永はセットを中心に得点をあげ、20分過ぎまで8-8と同点で進行していった。ここから三陽にオーバーステップやライシクロスなどのミスが重なり、12-8と湧永の4点リードで前半を終了した。

後半に入り、前半のスローペースとはかわり点の取り合いとなった。湧永の脚が止まり、ペースが落ち、この間に三陽は田中の速攻などで13分に逆転し、その後は一進一退の展開となった。終盤やや荒っぽいプレーが目立つようになったが、両チームとも決め手を欠き21-21で終了した。

得00005411028800
陽川橋川鳴原坪辺藤田中藤井
〔宇高濱飯小大渡佐濱田近桜〕

GK F P [審・古池]

永藤田卷原田井沢取塚田本中
得002210401000002
〔湧井多酒河堀新長荷鎌奥松田〕

第3週第4日 (1月26日)
松山コミュニケーション体育館

日新製鋼 31 [15-10] 17 三 景

〔戦評〕スロースタートから立ち上がりとなった。前半4分、日新源内のゲットでようやく動き出した。着実に得点を重ねる日新に対し、三景は日新の固いディフェンスに阻まれ、シュートミスを連発、16-7で前半を終了。

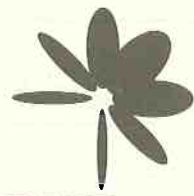
後半に入ってもペースはかわらず、一方的な点差で日新は三景をふり切り快勝。三景のミスに合わせるようにミスを連発する日新もいただけないゲーム展開であった。得0024420010004
景村井藤橋井田山橋野野藤土
〔三石齊高金濱小高小吉近福〕

GK F P [審・不明]

新原川田田木 村田口中内
日篠宇堀武高 林 木池坂河野源
得00222301071114

本田技研 27 [12-15] 16 大崎電気
鈴鹿 11-5

〔戦評〕立ち上がり、関根の速攻で先制した本田は、山村らの速攻で一気に主導権を握った。着々と加点する本田に対し、大崎はコンヒネーションがかみ合わず、個人技の単発に終始し、前半で15-5と大きく水をあげられた。



OSAKI

大崎電気工業株式会社

東京都品川区東五反田2-2-7 〒141

TEL.03(3443)7171 FAX.03(3447)5844

後半に入っても本田のスピード攻撃はとどまることなくGK橋本の好キープと相まって粘る大崎を危げなく振り切った。

得000044110033
 崎) 辺内橋田藤住斐田内崎屋下
 (大渡矢大武首魚甲菅山柏土宮

G K F P [審・不明] P T (1) 16

得003036121290
 (本) 高橋藤立福内大梅田平山香
 (本) 木本井木村藤塚基口松村西

第4週第1日(2月1日)
 国分市総合体育館

本) 鹿 19 7-6 14 三陽商会
 (戦評) 前半、本田は山村のサイドシュートで2-0と先行するが、その後は三陽GK高橋の好守で点が取れず、その間三陽は飯嶋のポストで着実に加点し、前半7-6と本田が1点をリード。

後半、三陽は5分に渡辺がポスト
 得0000521401100
 陽) 川橋川嶋原坪辺藤田中。藤
 (三) 宇高濱飯小大渡佐濱田F近

G K F P [審・板倉本] P T (2) 19

得00001122302055
 (本) 高橋丹藤立福内大梅田平山
 (本) 木本羽井木村藤塚基口松村

トで決め10-9。その後7分に飯嶋のペナルティで11-10とするも約10分間無得点が続く。本田はコントロールタワー田口を中心に山村、小清水のサイドコンビで加点し、GK橋本の活躍が光った。三陽も24分には15-14と迫るが、この後は緊張が切れ、本田の速攻を許してしまった。

第4週第2日(2月2日)
 大阪府立体育館

大) 同 36 17-14 24 三景
 (戦評) 三景はチーム一丸となり攻守に活発な動きを見せ、20分経過まで13-10と3点差で食い下がる。一方大同は少し固さが見え、日頃のペースがつかめない。

後半に入ってからペースは変わらず三景は3点から4点の差で追いつける。終盤、大同は盧の連続ゴールで引き離し力の差を見せつけたが、全体に大同の力強さが見えなかった。

得0099413000025
 景) 村井藤橋井田山橋野野藤士
 (三) 中石斉高金清小高小吉近福

G K F P [審・浅井永] P T (0) 24

得0021411078210
 (大) 秋林 酒内高 盧 取 岡藤萬村
 (同) 吉 句藤村 盧 取 岡藤萬村

日新製鋼20 12-5 15 大崎電気
 (戦評) 日新としては前期分けていらないだけにVを狙うためには落せないゲームである。日新・武田の速攻、大崎・首藤のミドルと打ち合いとなるが、双方ともよく守り、15分経過で5-3と日新2点リードという状況。しかし、日新も少しずつペースをつかみ、4連続ゴールなどでリードを広げ、12-5として前半を終える。

後半に入ってから、大崎も互角の展開を見せたが、前半の点差が大きくなり追いつけることができなかった。大崎内橋田田藤住斐田井崎下
 (大渡矢大珍武首魚甲菅藤柏宮

G K F P [審・馬場田] P T (3) 15
 (新) 原川田田山斐 村田口中内
 (日) 篠字堀武西甲 林 木池坂野源

得003424100411
 (本) 高橋弥丹藤立福内田平山香
 (本) 木本吉羽井木村藤口松村西

第4週第2日(2月2日)
 広島市東区スポーツセンター
 湧永製薬25 11-10 25 中村荷後
 (戦評) ゲーム開始から両チームの意気込みが強く、少々荒っぽいスタートとなったが、一進一退をくり返し、1点を争う好ゲームとなった。中村は呉を軸にポスト、サイドと柔軟な攻めをくり広げた。

G K F P [審・佐小路山] P T (2) 31

一方、湧永は長沢のミドルを中心にベテランのサイド、ポストとの連携も良く、最後まで激しいプレ-を続けた。
 惜しまれるのは、中村のPTの失敗が前半に2本あったことだ。

得00460020201100
 村) 井上口 宮尾島木戸 原中
 (石) 井田 雨八元高岩 栗田

得00222201011403
 (湧) 井多酒河堀新長 荷鎌奥松田
 (永) 藤田卷原田井沢取塚田本中

第5週第1日(2月15日)
 鈴鹿市立体育館
 (戦評) 前半、開始10分まで三景・小野の先取点より連続加点するが、固くなっていった本田もポスト攻撃、速攻などでじわじわと反撃、14分に同点とした後は堅い防御と

得00122240006003
 景) 村井藤橋井田山橋野野藤士
 (三) 中石斉高金清小高小吉近福

得003334229300151
 (本) 高橋弥丹藤立福内田平山香
 (本) 木本吉羽井木村藤口松村西

三景グループは、企業の使命感と創造の精神を礎に、
 不断の歩みを続けています。



Sunline

株式会社 三景

株式会社 三景

服装文化の発展とともに

本社 ☎(03)3221-8811 〒101 東京都千代田区麹町4-7-2 サンライン第7ビル

GK橋本の好キーピングにて中盤以降びたりと三景の足が止まり、12-5と本田が7点をリードして前半を終了。

後半に入り、三景も懸命に追い上げるが、本田は多彩な攻撃で着着と加点、一方的にリードを広げて大差で勝利を飾った。

中村荷役
運 輸 23
12-10 11-10 20大崎電気

〔戦評〕前半立ち上がりから両チームとも動きにスピードはあるが正確さに欠け、一進一退の攻防となる。大崎は魚住のロングで中盤までリードするが、中村は呉のミドル、速攻で盛り返し、中村の1点リードで折り返す。

後半、朴のポストで先行するが、呉の退場の間に大崎は追いつき接戦となる。残り9分に中村が4点リードでほぼ勝利をつかんだかと思われたが、中村・雨宮が退場となり、その間に大崎は1点差までつめ寄る。しかし、田口、呉のシュートで再び突き放した中村が23-20で勝利を収めた。

得点	0	0	2	2	1	4	0	0	5	0	11	0	0
村井	石	井	田	林	宮	尾	島	木	戸	原	中		
得点	0	0	2	2	1	4	0	0	5	0	11	0	0
大崎	武	首	魚	甲	菅	藤	山	柏	宮				
GK	F P 審 松ケ目												
PT	(2) 20												

第5週第2日(2月16日)
富岡高校体育館

第5週第2日(2月16日)
熊本県立体育館

第6週第1日(2月22日)
批把島体育館

大同 同 28
19-10 9-17 27三陽商会
〔戦評〕7年ぶりの優勝に向けてひた走る大同が大苦戦を強いられ

前半立ち上がり、5分過ぎまでに三陽が6点を連取、一気に優位に立つ。その後も調子の出ない大同に対し三陽は着々と加点、15分過ぎには10-2と大量リードを奪う。終盤、大同も末岡などのがんばりで追い上げるが、17-9と8点差で前半を終了。

後半に入ると、大同はエース盧のシュートで着々と加点、じりじりと追い上げを図る。15分過ぎに23-19と4点差。22分過ぎに24-24の同点にようやく追いつく。しかし、三陽も粘りを見せてその後一進一退の展開、残り1分、27-27の同点から大同・高村が決勝シュートを決めて辛くも勝利を握った。

得点	0	0	0	0	7	2	2	6	0	0	2	7	3	1	0	
大同	吉	林	藤	村	生	取	岡	藤	萬	村	多					
得点	0	0	2	4	2	0	1	4	2	0	1	4	2	0	1	0
三陽	川	橋	川	嶋	原	坪	辺	藤	田	中	藤	井				
GK	F P 審 小 土 屋 林															
PT	(3) 27															

得点	0	0	1	4	3	5	0	0	0	0	3	1	5			
日新	原	川	田	山	斐	村	田	口	中	内						
得点	0	0	2	4	2	0	1	4	2	0	1	4	2	0	1	0
湧永	藤	田	卷	原	村	沢	取	塚	本	中	山					
GK	F P 審 高 森 山 橋															
PT	(1) 16															

得点	0	0	3	3	2	5	6	2	5	0	0	0
大同	吉	林	句	藤	村	生	盧	林	岡	藤	萬	村
得点	0	0	4	5	3	3	5	0	0	0	0	5
日新	原	川	田	山	斐	村	田	口	中	内		
GK	F P 審 日 川 合 比											
PT	(2) 26											

得点	0	0	1	4	3	5	0	0	0	3	1	5				
新	原	川	田	山	斐	村	田	口	中	内						
得点	0	0	2	4	2	0	1	4	2	0	1	4	2	0	1	0
湧永	藤	田	卷	原	村	沢	取	塚	本	中	山					
GK	F P 審 高 森 山 橋															
PT	(1) 16															

〔戦評〕前半、両チームGKの好

後半、湧永が奥田のシュートが決まりリズムをつかむかに見えたが、日新はサイド、ロング、ポストと着実に加点していった。一方湧永は、残り10分で速攻からみの得点を重ねたが、追いつくまでにはいかなかった。

後半に入り、日新は新人コンビの源内、林の活躍で猛反撃、残り2分には1点差まで詰め寄るが、直後に大同・末岡の意表をつくラニングシュートが決まり勝利を決定づけた。日新としては、立ち上がりの連続失点が悔やまれた。

日新製鋼 22
10-12 8-8 16湧永製薬

大同 同 26
10-16 14-11 25日新製鋼
〔戦評〕この試合で7年ぶり8回目の優勝を決めたい大同特殊鋼は開始早々、盧のすばらしいロングシュートで先制、その後も佐藤らで絶好のスタートを切る。日新は大回の高く厚い壁を攻めめぐみ、ペースをつかめないまま前半を終了。

くらし、ひろげるジャスコのカード

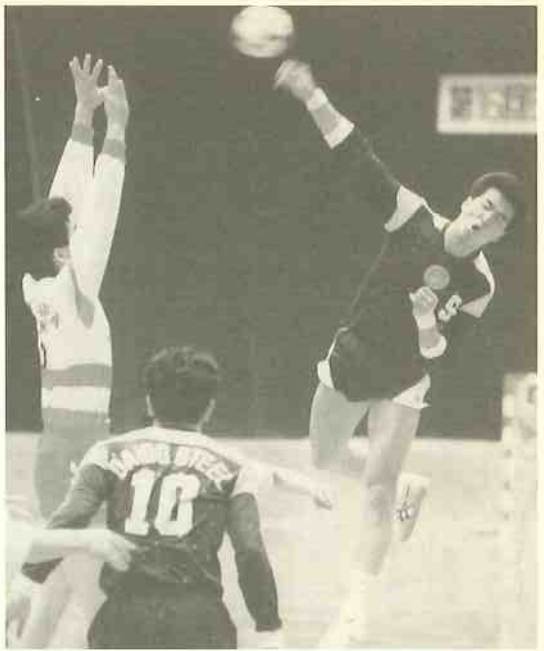
会員募集中

ファッションから食品まで
サインひとつでお買物。
ご入手続きも簡単です。
お気軽にお申込み
ください。

お支払いもいろいろ
●月々のお支払いがラクな
リボルビング払い
●手数料なしのおトクな
一回払い
●お求めはいま、お支払いは
ボーナス一括払い

お申し込み、お問い合わせは、ジャスコ各店
サービスカウンターまたは、販売員におたず
ねください。





守により10分間で2-2とロースコアの立ち上がりであった。その後も単発的な得点で一進一退の攻防をくり広げ、本田の2点リードで前半を折り返した。

後半に入り、本田は福村のミドルシュートやGK橋本の好守からの速攻などで得点を重ね、5点をリードする。しかし、15分過ぎより本田はシュートミスが増え、永の速攻が出はじめた。終了間際に湧永にPT、速攻と同点に追いつくチャンスが再三訪れたが、本田GK橋本の好守に阻まれ、結局本田が前半のリードを守って逃げ切った。

第6週第1日(2月22日)
東京体育館

得	0	0	5	5	1	2	0	2	0	1	3	0	
湧	永	藤	田	卷	原	村	田	沢	塚	田	本	中	山
得	0	0	5	5	1	2	0	2	0	1	3	0	
湧	井	多	酒	河	玉	堀	長	鎌	奥	松	田	杉	

GK [審・小路] FP [山]

得	0	0	0	2	1	0	4	2	0	0	1	4	7
本	高	橋	弥	丹	藤	立	福	内	梅	田	平	山	
得	0	0	0	2	1	0	4	2	0	0	1	4	7
本	木	本	吉	羽	井	木	村	藤	基	口	松	村	

21 (2) PT (1) 19

〔戦評〕前半立ち上がりより両チームのスピードイナな攻守で見応えのある試合となった。中盤、大崎が藤井のサイド、速攻で一時ペースをつかみかけたが、三陽も田中、飯嶋らで追い上げ、前半を2点差で折り返した。

三陽商会 31
17 | 14 | 13 | 16
29 大崎電気

後半に入り、要所に両チームの好守を織り込みながら10分過ぎに三陽が同点に追いついた。一度は大崎が突き放したが、三陽の足が動きだした。デイフェンスからの相手のパスカットなどから速攻をくり出し逆転、そのまま逃げ切った。

得	0	0	4	0	5	8	4	0	6	0	0	2	
大	崎	藤	内	橋	田	藤	住	斐	田	井	内	崎	下
得	0	0	4	0	5	8	4	0	6	0	0	2	
大	工	矢	大	武	首	魚	甲	菅	藤	山	柏	宮	

GK [審・岡本] FP [水]

得	0	0	0	2	3	6	7	0	3	7	0	0
陽	原	橋	川	鳴	原	坪	辺	藤	田	中	ベ	藤
得	0	0	0	2	3	6	7	0	3	7	0	0
陽	藤	高	濱	飯	小	大	渡	佐	濱	田	ジュ	セツ

中村 34 15 | 19 | 12 | 10 22 三景

〔戦評〕立ち上がり早々、中村が5点連続得点し、その後もポストカットイン、ロングなどの幅広いオフエンスで得点を加えた。一方三景も清田の得点を中心に反撃するも中村デイフェンスの高い壁に

得	0	0	4	6	2	5	0	2	1	0	0	2
景	村	井	藤	井	田	山	橋	野	野	藤	士	
得	0	0	4	6	2	5	0	2	1	0	0	2
景	中	石	斉	高	金	清	小	高	小	吉	近	福

GK [審・川口] FP [兼田]

得	0	0	5	3	2	6	2	2	1	12	0	1
村	井	上	口	朴	宮	尾	島	木	戸	原	中	
得	0	0	5	3	2	6	2	2	1	12	0	1
村	石	井	田	朴	雨	八	元	高	岩	栗	田	

34 (3) PT (0) 22

防がれ、得点が伸びず前半を終った。後半に入り、三景も斉藤らのミドルが決まりだし、20-24まで追い上げたものの中村・呉の連続得点により突き放され、結局34-22で中村が勝利を飾った。

第6週第2日(2月23日)
静岡中央体育館

本田技研 26 15 | 11 | 11 | 11 22 日新製鋼

〔戦評〕前日の試合で優勝を逃した日新は、立ち上がり攻めに精彩を欠き、なかなか得点があげられない。一方本田は開始2分、梅基が先制、福村、藤井、内藤と得点を重ね、立ち上がり10分まで4-0と優位に立った。その後日新はPT、堀田、武田の活躍で反撃、GKの好守に阻まれながらも前半11-11の同点として折り返した。

後半に入り、本田は速攻、日新はセットからのずらしが決まり、追いつ追われつとの展開となった。本田は失格者2名を出しながらも

得	0	0	3	5	1	2	4	3	0	1	0	3
新	日	谷	川	田	山	木	斐	村	口	中	内	
得	0	0	3	5	1	2	4	3	0	1	0	3
新	宇	堀	武	西	高	甲	林	木	坂	野	源	

GK [審・若山] FP [山]

得	0	0	0	4	5	2	3	5	5	0	2	0
本	高	橋	弥	丹	藤	立	福	内	梅	田	平	山
得	0	0	0	4	5	2	3	5	5	0	2	0
本	木	本	吉	羽	井	木	村	藤	基	口	松	村

26 (2) PT (5) 22

スポーツマンのベストコンディションをお約束する、シャンピアホテル。

■料金(税込)
シングルA.....7,620円
シングルB.....8,240円
ダブル・ツイン.....14,420円
トリプル.....18,020円
和室.....14,420円

■料金(税込)
シングルA.....7,410円
シングルB.....7,620円
ダブル.....9,880円
デラックスダブル.....13,390円
ツイン.....12,970円

名古屋シャンピアホテル
〒460 名古屋市中区錦2-20-5 代表 ☎052(203)5858
●交通 地下鉄東山線伏見駅より東へ徒歩5分
地下鉄東山線栄駅より西へ徒歩8分 タクシーは名古屋駅より8分

大阪シャンピアホテル
〒530 大阪市北区南扇町6-23 代表 ☎06(312)5151
●交通 新幹線新大阪駅からタクシーで10分
大阪空港からタクシーで20分(阪神高速) 大阪駅から扇町まで徒歩12分

■設備のご案内 ●ミーティングルーム ●全自動洗濯機・乾燥機設置 ●VHSビデオ設置
●茨城シャンピアホテル ●青山シャンピアホテル ●防府シャンピアホテル ●姉妹ホテル KOLON HOTEL 韓国・慶州(キョンジュ市) 東京事務所(03)586-2371

相手シュートミスに乗じた速攻の手をゆるめず、梅基、内藤などの活躍で日新を26-22と突き放した。

大崎電気 33
16-17-9
6-15-3 景

〔戦評〕大崎は立ち上がりから積極的に攻め、魚住のミドルシュート、速攻からの武田のシュートで加点、優位に試合を進めた。三景も金井の巧みなサイドシュート、速攻で得点を重ねるが、大崎・宮下が豪快なミドルシュートを立て続けに決め、三景を圧倒した。

後半に入っても大崎が着々と加点し、試合を一方的なものとした。攻め手がなくなった三景は、戦意も薄れ、結局15-33と大敗した。

得0023520210000
景村井藤橋井田山橋野野藤士
〔三〕中石斎高金清小高小吉近福 (1) 15

GK [審・細水] P T

〔大崎〕辺内橋田藤田住斐田井崎下
得00143445221110
〔渡〕大武首中魚甲菅藤柏宮 (3) 33

第6週第2日 (2月23日)
東京体育館

中村荷役 11-4
運輸 14-12 16 三陽商会

〔戦評〕中村は高木のサイドからの回り込みミドルシュート、田口の左フロッターからのミドルシュートで2点先行する。三陽も田中

のロング、大坪のサイドシュートで追いつく。三陽のミスからの速攻、朴のアンダーシュートなどで21分には8-4と中村がリードを広げる。三陽は前日の大崎戦の疲れからか動きに精彩がなく、前半は11-4と中村のリードで終る。

後半に入ると、三陽は呉をマンツーマンするディフェンスに切替えたが、中村は朴のポストシュート、インターセプトで得点を重ねる。三陽は飯嶋の活躍で踏張るが薄くなったディフェンスをフェイントで崩れ、11分には16-6と離される。三陽は飯嶋、田中が奮闘するが差は縮まらず、結局25-16で中村が勝利を収めた。

得0011411500400
景川橋川鳴原坪辺藤田中藤井
〔三〕宇高濱飯小大渡佐濱田近湯 (3) 16

GK [審・浜田] P T

〔中村〕井上口 宮尾島木戸 原中
得00665111122300
〔石〕井田 朴 雨八元高岩 栗田 (2) 25

大同 14-3 26 湧永製薬
特殊鋼 14-3

〔戦評〕湧永が元気でスタートし大同が追いかける展開となる。12分で6-4と湧永のリード。大同はディフェンスを引き気味にし、湧永のミスに乗じて速攻を出す。しかし、16分に朝生、19分に盧の退場で差を縮められない。23分、

高村のポストシュート、末岡のミドルシュートで1点差とし、25分に林の速攻で追いつき、阿萬の速攻で逆転する。結局14-13と大同が1点をリードして折り返す。

後半に入っても一進一退の展開が続いたが、13分、湧永・堀田の退場の間、大同は末岡のP.T、速攻で3点差とする。湧永も粘りを見せたが一歩及ばなかった。

女子1部

第1週第2日 (1月12日)
尾花沢市文化体育館

大崎電気 30
14-16-11-15 26 北国銀行

〔戦評〕前半は北国銀行のスピードと大崎電気の尹選手の大砲を中心とする争いとなり、1点を競り合う試合が続いた。最後に大崎が1点をリードし前半を終了した。

後半は大崎に金選手も加わり、北国のスキをつけて着実に加点、そのままふり切った。

得00000071335730
〔北〕戸沢田野川下山本 田川
〔国〕木古上矢西松松谷 森金 松釣 (4) 26

GK [審・江成] P T

〔大崎〕雲片井川原口宮田 谷井
得0042150221400
〔南〕宗藤前梅江鷲野 金尹法 伝酒 (0) 30

得005333820020
〔永〕藤田巻原村田沢塚田本中山
〔湧〕井多酒河玉堀長鎌奥松田杉 (1) 26

第1週第2日 (1月12日)
大分県立総合体育館

オムロン 30
14-16-9-8 17 大和銀行

〔戦評〕前半、オムロンは石村のロングやフォーメーションからのサイドシュートで先制したのに対し大和は松田の速攻や西口のサイドシュートで盛り返し、10分には6-3でオムロンのリード。その後オムロンのグデリューのロングやディフェンスをひきつけてか

得05202220310
〔和〕池藤野田吉口尾田口本
〔大〕小伊白松又西山竹木橋 (2) 17

GK [審・森山] P T

〔オム〕島下山津田嘉本藤田村方中
得00001152214791
〔川〕城中武古比橋奇吉石イ田 (3) 30

打ちこんでしまう性格です。
好きなことを、好きなだけやっているうちに、ここまできた。
面白いなあ、くやしいなあ、うれいなあと言っているうちに、ここにいた。
ボールいっこあれば、夢中になれるボクたちは、きっと天下無期の幸せ者なんだ、と思います。

Tango
HSH3AD タンゴ3号 ¥6,000
●天然皮革 ●縫製器具・手縫い
日本リーグ男子試合球

株式会社 **molten**
東京本社 東京都豊田区横川5丁目5-7 〒130 0303-3025-7681代
大阪・名古屋・福岡・広島・仙台・札幌・リノUSA・デュセルドルフFW.G.



らのポストへのパスで得点を重ね
前半は16-8でオムロンがリード
後半もオムロンの優位は変わら
ず、相手ミスからの速攻やグデリ
ユーの高さを大和はつぶすことが
できなかった。オムロンの高さ
とスピードが目立った試合であった。
第1週第1日(1月11日)
相模原市総合体育館

シャト
レーゼ 22 12-15 13日立栃木

〔戦評〕立ち上がりからシャトレ
ーゼはGK村山が好キープングを
見せ、技で主導権を把む。これに
対し、日立も速攻で追いつけるが
2点差までしか詰められず、前半
を終了。
後半に入ってから、動きが悪くなっ
た日立デフエンスは、シャトレ
ーゼにPTを次々と与え、シャト
レーゼの山岸がこれをすべて着実
に加点していった。シャトレーゼ
はGK村山を温存する余裕まで見
せ、危げなく勝った。

得000501010114
立津本鶴井田塚苗来田 柏田
〔日〕梅坂吉新柳飯尾市岡 堤 小貴
GK F P 審・

〔シャト〕藤山松方岸沢林寺葉俣田
得001010104020311
工村小生山松小野小鶴 李
22 (7) P T (0) 13

第2週第1日(1月19日)
市川市民体育館

北国銀行 31 14-10 25 シャト
レーゼ

〔戦評〕北国銀行が速攻を中心に
優位に立ち、左腕・松沢の5得点
で食い下がるシャトレーゼを一時
は17-9と大きくリードした。し
かし、24分、28分と北国に退場者
が出た間にシャトレーゼはペー
スをつかみ、小松、小俣らの6連続
ゴールで追い上げ、17-15で前半
を終る。
後半は、両チームとも退場者が
出たり、PTが多くなったり激し
い展開となったが、北国がデフ
エンスの早いチェックと速攻をは
じめスピードイェ試合運びで常に
リードを保ち逃げ切った。

得0010026030400
立津山松方岸沢林寺葉俣田友
〔日〕藤山松方岸沢林寺葉俣田友
〔シャト〕藤山松方岸沢林寺葉俣田友
得0010026030400
工村小生山松小野小鶴 小

GK F P 審・田村 藤村
戸井田野川下山本 田川
〔北〕木若上矢西松松谷 森金 松釣
得0010040132533
0010040132533

第2週第1日(1月19日)
神戸中央体育館
日立栃木 24 12-11 21 大和銀行
〔戦評〕前半立ち上がりより大和

〔戦評〕前半立ち上がりより大和

・小池、日立・新井らの活躍によ
り25分までまったくの一進一退で
点差が開かなかつたが、25分過ぎ
日立・飯塚の連続得点で2点をリ
ードして前半を終了。
後半、日立は6連続得点を加え
リードを広げる。大和も終盤、小
池らのがんばりで追い上げるが、
前半の点差を縮めることはできな
かった。

得005073021012
和見田口高池藤野田吉口尾田
〔大〕増上木戸小伊日松又西山竹
24 (1) P T (2) 21

〔戦評〕前半、北国は金のロング
を中心に得点を重ね、一方、日立
も市来を中心に攻撃を展開、互角
の激しい点の取り合いとなり、18
-16と北国が2点をリードして折
り返す。
後半に入っても両者譲らず、激

大崎電気 29 12-11 26 日立栃木
〔戦評〕日本リーグ10000試合
目というところで、それにふさわし
い好ゲームとなった。
前半のはじめは大崎・尹を欠き、
本来の大崎のペースをつかめず、
前半はシューティングとなり12-
11と大崎の1点リードで終了。
後半に入ってから、4分から9分ま
で日立が連続6点を奪い逆転に成
功。しかし、大崎も10分過ぎから
反撃を開始、4連続得点でまたま

〔戦評〕日本リーグ10000試合
目というところで、それにふさわし
い好ゲームとなった。
前半のはじめは大崎・尹を欠き、
本来の大崎のペースをつかめず、
前半はシューティングとなり12-
11と大崎の1点リードで終了。
後半に入ってから、4分から9分ま
で日立が連続6点を奪い逆転に成
功。しかし、大崎も10分過ぎから
反撃を開始、4連続得点でまたま

〔戦評〕日本リーグ10000試合
目というところで、それにふさわし
い好ゲームとなった。
前半のはじめは大崎・尹を欠き、
本来の大崎のペースをつかめず、
前半はシューティングとなり12-
11と大崎の1点リードで終了。
後半に入ってから、4分から9分ま
で日立が連続6点を奪い逆転に成
功。しかし、大崎も10分過ぎから
反撃を開始、4連続得点でまたま

た逆転。このような展開で23分ま
でいったが、23分過ぎからは日立
のミスにつけ込み大崎が加点、29
-26で逃げ切った。

得0040101222212
日立津本鶴井田塚苗来田 柏田
〔日〕梅坂吉新柳飯尾市岡石 堤 小貴
GK F P 審・兼川 田口

〔戦評〕前半、北国は金のロング
を中心に得点を重ね、一方、日立
も市来を中心に攻撃を展開、互角
の激しい点の取り合いとなり、18
-16と北国が2点をリードして折
り返す。
後半に入っても両者譲らず、激

〔戦評〕前半、北国は金のロング
を中心に得点を重ね、一方、日立
も市来を中心に攻撃を展開、互角
の激しい点の取り合いとなり、18
-16と北国が2点をリードして折
り返す。
後半に入っても両者譲らず、激

〔戦評〕前半、北国は金のロング
を中心に得点を重ね、一方、日立
も市来を中心に攻撃を展開、互角
の激しい点の取り合いとなり、18
-16と北国が2点をリードして折
り返す。
後半に入っても両者譲らず、激

〔戦評〕前半、北国は金のロング
を中心に得点を重ね、一方、日立
も市来を中心に攻撃を展開、互角
の激しい点の取り合いとなり、18
-16と北国が2点をリードして折
り返す。
後半に入っても両者譲らず、激

合宿・国内外遠征から
ご家族の旅行まで
なんでも手配致します

明日の勝利の為に
私達が役立ちます

株式会社 エモック・エンタープライズ
〒105 東京都港区西新橋1-17-4 Y・Kビル1F
TEL: 03-3507-9777 FAX: 03-3507-9771
運輸大臣登録旅行代理店業 第6018
一般旅行業務取扱主任者 田川正明



しい点の取り合いが続いたが、ノ
マークシュートの確率で上回っ
た北国がゲームをものにした。

第3週第4日(1月26日)
山口県スポーツ文化センター

シヤト
レーゼ 22

〔戦評〕前半立ち上がり、シヤト
レーゼはPTを確実に決め、その
後も次々に得点を重ね5-0とす
る。大和も7分に小池がサイドシ
ュートを決めてからデیفエンス
の足がよく動くようになり、シヤ
トレーゼのポストへのパスをよく

守り、速攻やサイド攻撃で得点を
重ね、12-8とシヤトレーゼの4
点リードで折り返す。
後半も前半と同様の展開で、ロ
ングシュートやポスト攻撃中心の
得0061003150001
見田池藤野田吉口尾田口村
〔大増上小伊日松又西山竹木吉
和〕

GK
F P 〔審・岡村〕
〔山根〕
〔藤山松方岸沢林寺俣田田友
野〕
〔工村小生山松小野小鶴成小
野〕
得00307200136000
22 (4) P T (0) 17

シヤトレーゼ、速攻とサイド攻撃
中心の大和銀行。大和は得点差を
縮めるチャンスをとことくシヤ
トレーゼのGK村山の好守に阻ま
れ、追い上げがかなわなかった。
第3週第4日(1月26日)
松山コミュニティ体育館

オムロン 29

〔戦評〕前半立ち上がりから大崎
の4点連取でワンサイドゲームか
と予感させるスタートであったが
固さの目立つオムロンも4分30秒
PTを得、ようやく目ざめジリジ
リと差をつめる。大崎・尹にマン
ツーマンデیفエンスをしいたオ
ムロンが14-17と3点差まで追い
上げ前半を終る。
後半に入って一進一退の攻防が
続いたが、10分20秒にオム
ロンが20-20と同点に追いつく。
その後主導権を握ったオムロンが
終始優位に展開、粘る大崎をふり
切って2点差で逃げ切った。

第4週第2日(2月2日)
大阪府立体育館

北国銀行 36

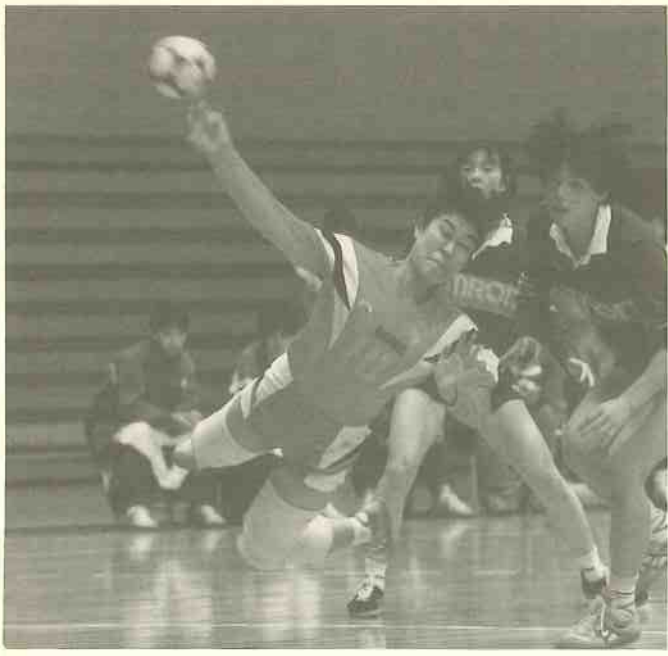
〔戦評〕新旧交替の時期にあり低
迷している大和と助っ人・金を中
心として上位を狙う北国の対戦。
出だし金を中心に得点に結びつ
ける北国パターンでスタートする
が、大和も速攻で追い、一進一退
の好ゲームとなる。20分経過で8
-7と北国の1点リード。終盤、
金の速攻で連続ゴールを奪った北
国が15-12と3点リードして前半
を終了した。
後半に入ると、出だしから北国
ペースの一方的な展開となり、ミ
スの多い大和に対し着実に加点し
た北国が大勝した。

GK
F P 〔審・中川〕
〔本川〕
〔増上戸小伊日松西山竹木橋
和〕
得000443320061110
見田高池藤野田吉口尾田口本
〔大〕

GK
F P 〔審・不明〕
〔木岩上矢西松松谷 森金 田川
北国〕
得004410500469770
木岩上矢西松松谷 森金 田川
〔北国〕

シヤト
レーゼ 19

〔戦評〕出足は両チームとも動き



シヤト
レーゼ 19

〔戦評〕出足は両チームとも動き

中村荷役運輸株式会社

代表取締役社長 中村 昭光

本社 〒108 東京都港区芝浦 2-3-39

電話 東京 (03) 3451-4161(代)



創業74年

にスピーディさがなく、パスもつながらなかったが、シャトレレーゼが途中からリズムをつかみ、小松のミドルを中心にサイド、ポストを使っての多彩な攻めでオムロンを圧倒した。

オムロンの方は、最後までリズムをつかみきれないで単調な攻めをくり返した。

得	0	0	2	2	0	3	3	1	0	0	2	3
ム	島	下	村	山	津	田	嘉	本	藤	田	村	ガ
エ	川	城	西	中	武	古	比	橋	齊	吉	石	イ

G K
F P
審・中
渡 辺
本

得	0	0	5	0	4	2	0	1	1	5	1	0
シ	工	村	小	生	山	松	小	野	小	鶴	成	小
ヤ	藤	山	松	方	岸	沢	林	寺	侯	田	友	

第5週第2日(2月16日)
富岡高校体育館

大崎電気	25
12	12
13	8
20	シャ
1	レ
1	ゼ

〔戦評〕前半立ち上がり、シャトレレーゼ・小俣が先制。しかし、大崎も4分近くによりやくリズムをつかむと5点を連取して一気に逆転、その後一進一退の展開となる。シャトレレーゼも14分に7-7の同点に追いつくが、終盤、大崎が一気に加点して13-8と5点をリードして前半を終了。

後半開始早々、大崎・伝法谷が加点、以後も終始大崎が先手先手と加点してシャトレレーゼとのリ

ドを広げる。終盤に至ってシャトレレーゼもようやく5点連取して追うが、すでに大きくリードを奪われており及ばなかった。

得	0	0	2	0	14	0	1	0	1	2	0	0
シ	藤	山	松	方	岸	沢	寺	侯	田	友		
ヤ	工	村	小	生	山	松	野	小	鶴	成	小	

G K
F P
審・清
水 藤

得	0	0	0	3	2	1	0	6	0	10	3	0
大	南	宗	藤	前	梅	江	鷺	野	金	伊	法	谷
崎	雲	片	井	川	原	口	宮	田	金	伊	法	谷

第5週第2日(2月16日)
熊本県立体育館

オムロン	25
11	14
11	9
17	日
1	立
1	栃
1	木

〔戦評〕前半10分までロースコアの4-3でオムロン。15分から中山の速攻、グデリューのロングシュートで3点リード。さらに、GK川島の好守備やグデリューのサイドスローシュート、パスカットからのドリブルシュートなどで

得	0	0	3	0	0	4	0	4	1	2	2	1
日	津	本	井	長	田	塚	苗	米	毛	柏	田	
立	梅	坂	新	神	柳	飯	尾	飯	尾	市	石	小

G K
F P
審・大
和 園

得	0	0	1	4	0	1	4	0	1	4	0	1
ム	鳴	下	村	山	津	田	嘉	本	藤	田	村	ガ
川	城	西	中	武	古	比	橋	齊	吉	石	イ	

オムロンが6点をリードして前半を終了。

後半に入ってもオムロンはグデリューのロング、中山のポストなどで加点。一方日立栃木も15分後飯塚、貴田のロングシュートで連続5得点をあげ追い上げを図るが点差が大きく及ばなかった。

第6週第1日(2月22日)
批把島体育館

大崎電気	32
16	16
16	11
20	大
和	銀
行	

〔戦評〕ゲーム開始から大崎電気は梅原、尹を中心としたロング、またポストがうまくからみ、次々と加点していく。一方の大和銀行は、大崎の厚いディフェンスをなかなか崩せず、13分、小池が初得点。その後少しずつリズムを取り戻した大和は、全員がよく動き反撃するものの差はなかなか縮まらない。

得	0	0	2	3	10	4	0	4	0	9	0	0
崎	雲	片	井	川	原	口	宮	田	金	伊	法	谷
大	南	宗	藤	前	梅	江	鷺	野	金	伊	法	谷

G K
F P
審・岩
本 板 倉

得	0	0	0	3	0	1	0	3	3	3	8	2
和	見	田	高	池	藤	野	田	口	尾	田	口	村
大	増	上	戸	小	伊	日	松	西	山	竹	木	吉

と合わせて5年連続7回日の優勝を飾った。

第6週第1日(2月22日)
京都府立体育館

オムロン	27
10	17
10	9
16	北
国	銀
行	

〔戦評〕ディフェンスのカットから橋本の速攻で先制したオムロンがディフェンスのペースをつかみ前半15分までに全員のディフェンスの良さでGK川島の堅守に阻まれ、10-3とオムロンがリード。北国も金のミドル、谷本のポストシュートなどで追いかけるが、比嘉のPT、グデリューのロング、ディフェンスの良さからの速攻と息つく暇もなく着々と加点し前半を10点差をつけて折り返した。

後半に入ってもオムロンのディフェンスは堅く、3連続速攻で加点する。対する北国もディフェンスの詰めは速くなり、サイドシュート、速攻で追い上げるが、GK川島の堅守に、リズムに乗り切れないまま終了。

得	0	0	2	1	0	0	0	4	1	6	2	0
北	戸	井	田	野	川	下	山	本	森	金	田	川
国	木	岩	上	矢	西	松	谷	松	谷	松	谷	松

G K
F P
審・浜
馬 田 場

得	0	0	3	0	3	4	0	0	11	3	2	0
ム	鳴	下	村	山	津	田	嘉	本	藤	田	村	ガ
川	城	西	中	武	古	比	橋	齊	吉	石	イ	

音のない体育館、誰もいないグラウンド。そこにハンドボールという魔法がかかると、興奮のつぼと化してしまう。

一瞬のきらめきと 積極果敢な チャレンジャー

セノーも誇り高いチャレンジャー。より良質の素材を求め、より精巧な製品を生み出す努力と情熱は、世界中のプレイヤーの額に光る一粒の汗と同じです。

日本ハンドボール協会検定工場



●本社
東京都千代田区神田司町2丁目7番地
郵便番号 101 電話 (03) 3292-5411

男子2部

第1週第1日(1月11日)
本田技研熊本体育館

トヨタ 14-6 日鉄建材
自動車 17-14 工業

(戦評)両チームともシュートミスが大変目立つ立ち上がりで、中盤よりペースをつかんだトヨタ自動車が優位に立ち、確実に点を取りリードを広げた。日鉄も上山、阪口で反撃するも散発で追いつかず、後半は雑なプレーが目立ち、ラフな試合に終始した。

得点 001001043074
里中内田追馬 口山本中井
〔古田谷至崎鹿 山上杉阪板〕

G K F P 〔審・北島〕
〔番・建岡〕
本田技研 11-9 豊田
熊本 14-6 自動織機

(戦評)前半、1点を争うシーンゲームとなったが、残り3分で3連続得点した本田熊本が11-9の2点リードで折り返す。
後半は、着実に得点する本田熊本に対し豊田自動織機は本田の堅いディフェンスを攻めきれず、リードを広げられてしまった。

得点 002040150102
田村田畑澤山田川浦田藤原
〔柴中山奥大諫倉小杉山伊吉〕

G K F P 〔審・田中〕

(戦評)本本代村中口崎中内島中玉(坂宮三松田山川田堀寺大児)が0061001064421

日本電装 16-8 21トヨタ
〔16-13〕

(戦評)前半はスピードに勝る日本電装が相手ミスにつけ込み着実に加点し、8点差でトヨタ車体をリードして折り返す。

後半も前半と同じ展開で試合が進み、トヨタ車体のシュートミスが目立った試合であった。

得点 000605510220
田辺田島野合部井沢島野野
〔宮渡野君崎河岡酒寺寺長川〕

G K F P 〔審・大切村〕

(戦評)橋上本戸村本田迫(高井橋西有久岸森笠近梅難)が0010001807033

竹芝精巧 13-12 22大阪ガス
〔17-10〕

(戦評)前半は竹芝GK桜川、大阪GK福田の両GKの好守により

一進一退の好ゲームとなったが、後半に入ると両チームともミスが多くなり、雑な試合展開となる。竹芝・平沼の活躍により逃げ切った。

得点 00140054350
阪田勝野地谷村田島田井羽
〔福曾奥加波中長森浜向三〕

G K F P 〔審・田中〕

芝川 間沼場本村元上肥野
〔竹桜〕 中平馬三今坂川土長
得点 0 41141604000

第1週第2日(1月12日)
本田技研熊本体育館

トヨタ 17-8 20豊田
自動車 17-12 自動織機

(戦評)前半立ち上がりは、両チームとも動きが固く、シーズンゲームの展開であったが、中盤からトヨタ自動車の動きが次第に良くなり、着々と得点を重ねて、17-8と大きくリードして前半を終了。

得点 001030730141
田村田畑澤山田川浦田藤原
〔柴中山奥大諫倉小杉山伊吉〕

G K F P 〔審・田中〕

(戦評)本森井田村輪本上元々田内(山富香川田三石杉大野光山)が006425145223

後半も常トヨタ自動車のペースで展開し、大きくリードを奪ったまま勝利を収めた。

本田技研 18-8 19日鉄建材
熊本 10-11 工業

(戦評)前半立ち上がりより本田熊本の田中、大中の活躍により本田ペースでゲームが流れ、10点のリードを奪って前半を終る。

後半は、日鉄の鹿島、阪中の活躍により4連続得点をあげ、日鉄ペースで始まったが、前半のリードを本田が守り逃げ切った。

得点 001036303102
里中内田追馬井 口山本中
〔古田谷至崎鹿板 山上杉阪〕

G K F P 〔審・石原口〕
〔番・渡辺〕

(戦評)本本代村中口崎中内島中玉(坂宮三松田山川田堀寺大児)が001200182473

日本電装 17-3 20大阪ガス
〔7-17〕

(戦評)前半は日本電装GK高橋(福曾奥加波中長森浜向三)が001920122320

G K F P 〔審・大切村〕

(戦評)橋上本戸村本田迫(高井橋西有久岸森笠近梅難)が003004204443

を中心に固いディフェンスと確実な得点で電装ペースで展開した。後半は大阪ガスのペースで、速攻、サイドシュートで追い上げたが、前半の点差が大き過ぎて及ばなかった。

トヨタ 8-12 25竹芝精巧
車体 19-13 工業

(戦評)前半は竹芝の速攻、ロングシュートが決まり、竹芝のペースで展開した。しかし、後半に入ると竹芝のミスが多くなり、トヨタ車体のペースに移る。車体は速攻、サイドシュートが決まり、残り5分で逆転に成功した。

得点 0 2720707000
里中内田追馬井 口山本中
〔竹桜〕 中平馬三今坂川土長

G K F P 〔審・北島〕
〔番・建岡〕

(戦評)田辺田島野合部井沢島野野(宮渡野君崎河岡酒寺寺長川)が0014031200070

第2週第1日(1月15日)
市川市民体育館

豊田 14-12 26日鉄建材
自動織機 16-14 工業

(戦評)前半の立ち上がり、日鉄は退場者を出し、その間トヨタは4-1と3点差とし、勢いに乗るトヨタは15分までに10-4と点差を広げた。一方日鉄も山口、上山のコンビでディフェンスを崩し、

を崩し、

点を重ね前半を14-12とした。後半は点のとり合いとなる。日鉄は上山のロングを中心に点を重ねるが、ディフェンスに荒さが目立ち、退場2、失格1(後半のみ)を与えられ、苦しい展開になったところを織機はサイド、カットインと多彩な攻めから得点をあげ、粘る日鉄をふり切った。

〔古田谷至崎鹿板 山上杉阪〕
 得00001320061022
 里中内田迫寫井 口山本中
 〔古田谷至崎鹿板 山上杉阪〕
 (1) 26

G K F P 〔審・植村〕

〔織田村田畑澤山田川浦田藤原〕
 得0050308100031
 柴中山奥大諫倉小杉山伊吉
 (5) 30

トヨタ自動車 24 〔13-15〕 24 大阪ガス
 (戦評) 荒っぽい攻防も24-24の痛み分けとなった。

G K F P 〔審・大村〕

〔阪田勝野地谷村田島田井羽〕
 得002270031560
 大福曾奥加洪中長森浜向三
 (1) 24

大阪ガスが加地の活躍などでリードすれば、トヨタ自動車も三輪の強引なシュートなどで追撃する形でゲームが開始した。両チームともにGKがピンチを救う巧プレーを見せ、ゲームを盛り上げた。

トヨタにベンチマナーの退場選手が出たことは残念だったが、試合の流れをうまく利用した大阪ガス、乗り切れなかったトヨタ自動車の感があった。

〔日本電装 29〕
 得151412
 151010 22 日鉄建材
 (戦評) 電装のスピードが日鉄を制した。立ち上がり、日鉄は攻防のバランスが良く、上山の巧シュートなどで先行したが、電装は持ち前のスピードを生かし、視野の広い攻めで日鉄に乗るスキを与えなかった。電装・難波はミドルシュートに時宜を得たものが多く、光った存在であった。

G K F P 〔審・吉本〕

〔古田谷至崎鹿板 山上杉阪〕
 得0000164001442
 里中内田迫寫井 口山本中
 (0) 22

G K F P 〔審・岸本〕

〔装橋上本村本田迫 藤井波〕
 得0022004405086
 高井橋西有久岸森 近梅難
 (2) 29

〔豊田 22〕
 得91312
 918 20 トヨタ
 (戦評) トヨタ車体がミス(シュート)により試合巧者、田自動

織機につけ込まれ、敗れた試合であった。

前半は、両チームともミドルシュートの応戦で互角に経過した。後半に入り、織機は倉田、山田のミドルシュートにポストブレイクからませ、常に試合の主導権を握り、車体にせり勝った試合であった。車体も岡部、酒井の新人コンビとベテラン長野の頑張りで接戦にもち込んだものの、ミスが多く惜しまれる敗戦であった。

〔宮渡野君崎岡酒平寺寺長川〕
 得002205500141
 田辺田島野部井野沢島野野
 (1) 20

G K F P 〔審・酒井〕

〔織田村田畑澤山田川浦田藤原〕
 得0030505340002
 柴中山奥大諫倉小杉山伊吉
 (2) 22

本田技研 37 〔20-17-9〕 20 竹芝精巧
 (戦評) 前半、本田熊本のミドルシュート、速攻が冴え、竹芝もロ

G K F P 〔審・小路〕

〔竹芝 20〕
 得025224110500
 川 間沼場本村元野上肥野
 (2) 20

〔熊本 37〕
 得009714140381
 坂宮三松田山川田堀寺大見
 (1) 37

ング、ミドルシュートで反撃するが前半で試合が決まった。本田では、三代の確実なシュート、松村のミドルシュート、大中のミドルシュートが目立った。また、速攻のコンビネーションは練習量の豊富さがうかがえた。竹芝では、平沼のロング、川上のミドル、三本の確実なPTが印象に残った。

〔トヨタ 26〕
 得91717
 918 15 日本電装
 (戦評) スピードを身上とする両チームの対戦だったが、防御力に安定感が見られたトヨタ自動車が電装を一蹴した。

G K F P 〔審・大森羽〕

〔高井橋西有久岸森 近梅難〕
 得0010004005221
 橋上本村本田迫 藤井波
 (2) 15

G K F P 〔審・中森羽〕

〔自動車 26〕
 得0044043004106
 山富香川田三石村杉野光山
 (0) 26

〔竹芝精巧 29〕
 得151412
 1515 27 豊田
 (戦評) 竹芝が巧者ふりを発揮し織機をふり切った。

メニューいろいろ ●中国ファンド ●チャンス ●公社債投信 ●株式投信 ●割引債 等

東洋証券

東洋証券 TOYO

●本店: 〒103 東京都中央区日本橋1-20-5
 ●電話: 03(3274)0211

立ち上がり、竹芝はコントロールタワー・中間を軸にバランスのとれた攻防で特に20〜25分に4連続ゴールを奪い14-7とした時は一方的なゲーム展開を思わせた。織機は攻めに波が激しく、前半の終盤から竹芝を追い上げ、後半4分には15-15と並び、45分には逆に2点のアヘッドを奪ったがそこまで。

第4週第1日(2月1日)
日本電装幸田体育館

得0 0 2 0 4 0 7 3 2 0 1 8
織田村田畑澤山田川浦田藤原
自柴中山奥大諫倉小杉山伊吉

G K F P 審・吉田 本

PT (0) 27

芝川 間沼場本村元野上下肥
得0 9 6 4 1 0 3 0 0 6 0 0
竹桜 中平馬三今坂百川川土

日鉄建材 23 13 10 11 21 大阪ガス

〔戦評〕大阪ガスが加地の巧シュートでリードを奪い、上山、山口の日鉄が追うシーソーゲームであった。終盤、大阪ガスは長内の退

得0 0 2 9 0 0 2 4 1 3 0
阪田勝野地谷村田島田井羽
〔大福〕根 菅奥加波中長森浜向三

G K F P 審・小山路

PT (1) 21

〔鉄〕里中内田迫馬井 口山本中
得0 0 0 1 3 2 2 0 5 9 1 0
〔古〕田谷至崎鹿板 山上杉阪

PT (1) 23

場が響き、日鉄がディフェンスに落ち着きを見せ、ムードを盛り上げ、逆転で勝利を収めた。

中盤、試合をリードしていた大阪ガスの速攻など攻撃に雑なところが見られたのが敗因となったようだ。

トヨタ 27 15 12 13 24 竹芝精巧
自動車 15 11 11

〔戦評〕前半、トヨタは新人三輪の連続得点により好スタートを切る。一方竹芝は、トヨタの堅い堅いディフェンスに阻まれ、なかなか得点をする事ができなかった

後半10分、トヨタが再び逆転に成功すると2点のリードを保ちつつ竹芝GK桜川の好守に苦しみながらも辛くも逃げ切った。

得0 7 6 1 4 0 4 0 2 0 0
芝川 間沼場本村本野上肥野
〔竹〕桜 中平馬三今坂百川土長

G K F P 審・神原 井

PT (1) 24

〔車〕本森井田村輪本上元々田内
得0 0 3 6 0 9 0 0 5 2 0 2
〔自〕山富香川田三石村杉野光山

PT (2) 27

豊田 25 14 11 13 25 大阪ガス
自動織機 14 12 13

〔戦評〕前半、両チームともディフェンスのイーजीミスが目立ったが、スピーディな試合運びとなる。シーソーゲームの末サイドからの攻撃を着実にポイントにつなげていった大阪ガスが2点をリードして前半を終る。

後半4分に織機が同点に追いつき、その後お互いに退場者を出しながらも一進一退の展開を見せる。終了25秒前に織機・杉浦の速攻で1点をリードするが、終了3秒前に加地のシュートで大阪ガスが追いつき同点のまま終了。

得0 0 3 0 5 0 6 3 7 0 0 1
織田村田畑澤山田川浦田原
自柴中山奥大諫倉小杉渡山吉

G K F P 審・河合 原

PT (0) 25

〔阪〕田勝野地谷村田島田井地羽
得0 0 1 8 0 0 1 7 3 3 2 0
〔大福〕根 菅奥加波中長森浜向加三

本田技研 27 18 9 14 26 日本電装
熊本 18 12 14

〔戦評〕パワフル本田熊本も電装のプレス気味のディフェンスに今一つ持ち味のダイナミックなシュートが打たせてもらえず、波に乗り切れない。電装はディフェンスからの速攻などで得点、14-9と5点のリードで折り返す。

後半、追いつ追われつの好ゲームとなるが、山熊本が徐々に勢いづき、終了1分30秒前に逆転、そのまま逃げ切った。

得0 0 2 0 0 7 4 0 6 2 3 2
装橋上本戸村本田迫 藤井波
〔高〕井橋西有久岸森 近梅難

G K F P 審・岩橋 田

PT (6) 26

〔本〕本本代村中口崎中内島中玉
得0 0 5 9 0 0 0 4 2 3 4 0
〔熊〕坂宮三松田山川田堀寺大児

トヨタ 35 16 19 11 24 日鉄建材
車体 16 13 11

〔戦評〕前半、車体は左腕・河合スピードブレイヤー・岡部らの活躍によりお家芸の速攻などで着実に得点を重ねる。一方日鉄は、ロングシューター・板井の左45度からのシュートが今一つ枠に入らずオフフェンスに決め手を欠く。

後半、車体はベテラン長野の活躍により点差を広げる。日鉄は鹿島のパワフルシュートも及ばず、35-24で敗れた。

得0 0 0 0 0 1 6 7 0 6 0 3 1
〔鉄〕里中内田迫馬井 口山本中
〔日〕古田谷至崎鹿板 山上杉阪

G K F P 審・夏目 谷

PT (0) 24

〔体〕田辺田島野合部井野島野野
得0 0 1 7 0 0 5 10 1 0 3 8 0
〔宮〕渡野君崎河岡酒平寺長川

PT (4) 35

第4週第2日(2月2日)
日本電装幸田体育館

本田技研 36 19 17 12 22 大阪ガス
熊本 19 10 10

〔戦評〕前半、大阪ガスのリードオフマン加地を中心に得点を加えるが、本田熊本はセット、速攻などで好スタートを切り、常に大阪ガスをリードする。

後半10分、本田熊本は勢いに乗り、相手のミスを確認に速攻へとつなげ得点を重ね、控え選手を出す余裕も見られた。一方大阪ガスは、浜田が奮起するが、セットオフフェンスでは加地1人に頼ってしまい、十分に攻めきれなかった。

得0 0 2 6 0 2 1 2 3 3 3 0
〔阪〕田勝野地谷村田島田井地羽
〔大福〕根 菅奥加波中長森浜向加三

G K F P 審・神谷 目

PT (1) 22

〔本〕本本代村中口崎中内島中玉
得0 0 8 1 1 2 6 4 3 4 6 1
〔熊〕坂宮三松田山川田堀寺大児

竹芝精巧 34 16 18 17 17 日鉄建材
〔戦評〕前半、竹芝は三本、坂元を軸に幅広いオフフェンスで日鉄をリードする。一方日鉄は、エース板井、鹿島のロングも竹芝GK桜川の好キーピングに阻まれ得点が伸びない。

後半、日鉄は足の止まっていた

ディフェンスも全員よく動きだし
オフフェンスにも活気が出てきた。
しかし、中盤以降再び動きが止ま
り、大量リードを奪われて敗れた。
得点000252301004
〔日〕里中内田迫野井 山口本中
〔鉄〕古田谷至崎鹿板 山上杉阪

G K F P 〔審〕浅野 谷

〔芝〕川 間沼場本村元野上肥野
〔竹〕中平馬三今坂百川土長
得点05664040531
トヨタ 32 17 15 13 8 21 トヨタ 34 (2) P T (3) 17

〔戦評〕前半から車体は持ち前の
スピードをオフェンス展開をし
ていくが、自動車の厚いディフェ
ンスを攻めあぐむ。自動車はディ
フェンス、オフフェンスともよく足
が動き、フロッターのパワーシユ
ートを見せつける。車体は、ポス
トをダブルにしたりと策を講じる
が、自動車の堅いディフェンスに
なかなかリズムに乗り切れず、前

G K F P 〔審〕木和田 河合

〔自動車〕本森井田村輪本上本々田内
〔山〕富香川田三石村杉野光山
得点00444110307021
32 (1) P T (4) 21

半を終る。
後半、自動車は三輪、杉元らの
ロングで着実に得点を重ねる。車
体は後半も速攻にミスが目立ち、
最後までペースをつかめなかった。
日本電装 27 14 13 10 23 豊田
〔戦評〕前半、お互いに技を知り
尽くしている両者、15分までは一
進一退の展開となるが、笠のミド
ル、G K井上の直接シュートなど
で電装が一歩リードを奪う。しか
し、織機もG K柴田の好守、ポス
ト、サイドなどで反撃、13-13に
追いついて前半を終える。

G K F P 〔審〕浅野 谷

〔織〕田村畑澤山田川浦部田原
〔自〕柴中山奥大諫倉小杉渡山吉
得点003050354012
27 (4) P T (1) 23

後半、織機は大澤のロングで先
手をとるがなかなかリードを広げ
られない。その後一進一退が続い
たが、残り6分を切つて電装が3
点を連取、接戦をものにした。

第5週第1日(2月16日)
熊本県立体育館

〔装〕橋上本戸村本田迫 藤井波
〔電〕高井橋西有久岸森 近梅難
得点01300044036442
19 トヨタ 7 1 8 17 車 体 熊本の
〔戦評〕立ち上がり、六、熊本の

パスミス、シュートミスによりト
ヨタ車体がリード。しかし、残り
10分から本田が6点を連取して一
気に逆転、12-9と3点をリード
して前半を終えた。

G K F P 〔審〕北岡 岡

〔宮〕渡野君崎河岡酒平寺長川
〔車〕田迫野野野野野野野野
得点0022050202040
17 (0) P T (2) 11

後半2分、車体がPTを得るが
本田G K宮本に阻止され追いつく
チャンスは逃す。お互い15分まで
点の取り合いとなり一進一退の攻
防が続く中、車体の速攻からの得
点機を再三G K宮本が好守を見せ
車体の反撃の芽をつんだ。

第6週第1日(2月22日)
京都府立体育館

〔本〕本野代村中口崎内島中玉
〔熊〕坂宮矢三松田山川堀寺大見
得点0002420011720
19 日本電装 12 11 8 19 日本電装
〔戦評〕今村、平沼の連取で先制
した竹芝がまずペースをつかみ、
電装も難波で追いかける展開。先
制したものの守りに不安があった
竹芝だが、リバウンドのシュート
をG K桜川が3連続キープして波
に乗り、電装のシュートをよく守
った。守りを固めた竹芝はロング
だけの単調な攻めにならず、ポス

ト、サイドでも次々と加点。ミス
の目立つ電装に対し9点差をつけ
て折り返した。
後半に入り、笠を軸とした電装
が徐々に差を詰めるが、後半なか
ばから再スパートを切つた竹芝が
馬場、平沼の速攻などで突き放し
勝利を取めた。

G K F P 〔審〕大森 羽

〔芝〕川 間沼場本村元野上肥野
〔竹〕中平馬三今坂百川土長
得点059114000810
29 (1) P T (2) 19

〔戦評〕前半は大阪ガスが加地の
活躍により常に先行するが、トヨ
タ車体も岡部を中心によくポール

第6週第1日(2月22日)
大阪ガス 23 13 10 13 9 22 トヨタ

〔阪〕田勝野地谷村田島田井地羽
〔大〕福曾奥加波中長森浜向加三
得点003330 142270
23 (3) P T (3) 22

日本が生んだ世界のボール
日本ハンドボール協会検定球 (J・H・A)

タチカラ ゼムレスボール

タチカラのハンドボールは縫ボールと同じ構造のチューブが離れた
L・B・C中空製法です。

TACHIKARA タチカラ株式会社 東京都台東区松ヶ谷1-11-7
東京・大阪・名古屋・福岡・札幌



女子2部

を回し、主導権を渡さずに前半を1点差で折り返した。
後半に入っても一進一退の展開であったが、要所で大阪ガスG K福田の好守によりリードを守り1点差で逃げ切った。
トヨタ 29 13-9 本田技研
自動車 16-8 熊本
〔戦評〕トヨタ自動車は三輪、杉元らがまんべんなく得点するのに対し、本田熊本は松村を中心とした得点が止まり、結局トヨタが4点をリードして折り返した。
後半に入るとトヨタがディフェンスから速攻への切り替えがうま

第1週第1日(1月11日) 相模原市総合体育館

ブラザー工業 23	10-11	JUKI	19
〔戦評〕立ち上がりからG K久保の好守から速攻へ展開したJUKI Iが終始リード、20分で10-4と			
得点	0 0 0 5 4 2 2 1 0 5	0 0 0 5 4 2 2 1 0 5	19
〔JUKI〕保田田塚中田口田井久		永許和高田飯山吉武 関	
G K	F P	〔審・三井〕	P T
〔工〕多住永栗田江斐藤中好玉			
〔ブ〕喜西末小野藤甲進畑三児			
得点	0 0 0 2 4 0 5 9 2 0 1 0		23
(1)			

くまわりだし、セット、エンスでも二輪が相変わらずシュートを決め、29-17という予想外の大差がついた。
得点 0 0 0 2 4 0 0 3 0 4 3 1
〔本〕本野代村中口中内島中玉
〔熊〕坂宮矢三松田山田堀寺大児
G K F P 〔審・小山〕 P T (0) 17

6点差まで広げた。しかし、シュート力に勝るブラザーはここから猛反撃を開始、後半6分には14-11と逆に3点をリード、以後も進藤のサイドシュート、甲斐のポストシュートなどで単純ミスを連発するJUKIを突き放した。
上位浮上をかけた両チームだが3位のブラザーが4位のJUKIの浮上に待ったをかけた。
第1週第2日(1月12日)
大分県立総合体育館

ソニー 21	10-9	ムネカタ	14
〔戦評〕前半、ムネカタが皆川のP Tで失敗。一方ソニーは大住のカットインシュートで同点に追い			
得点	11-5		
G K	F P	〔審・島田〕	P T
〔国〕前平、ムネカタが皆川のP Tで失敗。一方ソニーは大住のカットインシュートで同点に追い			
得点	0 0 2 4 0 11 1 5 1 0 4		29
(6)			

つ。双方決定力を欠き、シュート・パスミスが目立つ展開が続いた。流れが変わったのは、ムネカタの菅野、庄子の退場であった。ここでソニーは藤元、大住のシュートで差を広げていく。しかし、退場が解けた後ソニーは攻めあぐみ、ムネカタ・高橋の3連続得点G K山影の好守で差を締め逆転する。ソニーも頑張り、安山のサイドシュート、速攻で前半を10-9と1点リードする。
後半開始早々、ソニー・永尾の退場でムネカタはすぐに同点に追いつくが、ソニーのプレスディフェンスにロングシュートを封じられ、逆に速攻、カットインシュートを許し、じわじわと差を広げられてしまった。

第2週第1日(1月19日)
神戸中央体育館

ジャスコ 25	12-11	ソニー	25
〔戦評〕立ち上がりから両チームともカット速攻と加点したが、ジ			
得点	13-14		
G K	F P	〔審・石田〕	P T
〔賀〕元尾山山住谷木光			
〔古〕藤永平安大桑荒徳			
得点	0 2 3 1 4 4 7 0 0 0 0		21
(1)			

ジャスコは林(ドルシュート)が冨え、12-11の1点差で前半をリードした。
後半もソーラーゲームの展開となり、最後まで目の離せない好ゲームとなり引き分けた。
得点 6 2 0 3 0 6 5 0 3 0
〔ソニー〕賀元尾山山原住谷木
〔古〕藤永平安桑大桑荒
G K F P 〔審・酒井〕 P T (2) 25

第3週第2日(1月22日)
東京体育館

ジャスコ 25	13-5	JUKI	31
〔戦評〕立ち上がりから両チームともミスが多く、なかなか得点が伸びなかったが、ややシュート力に勝るJUKI Iがパスカットから速攻やP Tなどで抜け出した。ム			
得点	0 0 4 4 3 0 0 0 0 4 1 0 0	0 0 4 3 0 0 0 0 4 1 0 0	12
〔ム〕山山高皆上菅桜遠庄村吾藤		〔ネ〕影崎橋川野野井藤子上妻根	
G K	F P	〔審・稲村〕	P T
〔尾〕尾田田塚中田口田井久			
〔永〕永許和高田飯山吉武 関			
得点	0 6 4 1 4 4 6 4 1 0 1 4		31
(4)			

技を制す！ スポーツスピリット

体育施設の総合メーカー



- 日本ハンドボール協会検定工場
- 国際体操連盟公式競技認定品製造工場
- 日本体操協会器械器具検定工場
- 国際体操連盟公式競技認定品製造工場

本社工場/広島県福山市引野町5丁目4番23号 〒721 電話(0849)41-0230(代)
大阪支店/大阪府八尾市若林町1丁目70-1 〒581 電話(0729)48-3580(代)
営業所/東北営業所 名古屋営業所 福岡営業所

ネカタはシュートまでパスが続かず、JUKIのディフェンスとGK久保の堅守に阻まれ、前半は13-5とJUKIがリードした。

後半、出だしからペースをつかんだJUKIが相手ミスにつけ込み、PTを含む7連続得点などで一気に勝負をつけた。

第3週第4日(1月26日)
栃木市総合体育館

ブラザー工業 23 [12-10] 15 ムネカタ

〔戦評〕前半立ち上がり1分、ムネカタ・吾妻が先制する。ブラザーも4分によりやく小栗のシュートで追いつき、以後一進一退の互角の展開となる。終盤連続得点をあげたブラザーが12-10と2点をリードして折り返す。

後半、互角の立ち上がりを見せたものの、中盤からムネカタの攻撃が単調となったところをブラザーに連続して得点を許し、リードを広げられてしまった。

GK [審・小西] FP [審・滝口] PT

〔工〕多住永栗田江斐藤木中好玉
〔ア〕喜西末小野藤甲進高畑三
〔プ〕0002545600010
得 23 (3)

第4週第1日(2月1日)
国分市総合体育館

ブラザー工業 18 [8-7] 15 ソニー

〔戦評〕前半開始10秒、安山のサイドシュートで先制、4分には3-0とソニーがリードするが、13-3と逆転。その後は一進一退となり、8-7とブラザーの1点リードで前半を終了。

後半10分、ブラザー・藤江の速攻で11-8と3点リード。ソニーもロングシュートなどで追い上げるがなかなか点差は縮まらずに終了。ソニーの再三のノーマークシュートを好守したブラザーGK西住の活躍が光った。

GK [審・黒川] FP [審・中川] PT

〔工〕多住永栗田江斐藤木中好
〔ア〕喜西荒末小野藤甲進高畑三
〔プ〕0001431230031
得 18 (1)

第4週第2日(2月2日)
広島市東区スポーツセンター

ジャスコ 29 [14-9] 17 JUKI

〔戦評〕前半立ち上がり、両チームとも動きが固く、ミスマッチと

なったが、それにうまく乗じたジャスコがリードし、一時は6点差まで広がった。なかば過ぎから逆にJUKIの動きが良くなり、追いつきを見せ2点差まで詰め寄ったが、結局14-9として前半を終えた。

後半に入ってからミスはいくぶん減ったが、ペースはあまり変わらず、ジャスコは相手ミスをからめた多彩な攻めで得点を重ねた。JUKIも必死で食い下がったが、波に乗り切れずじわじわと点差を広げられ、最終的には29-17という大差で終了した。

第5週第1日(2月15日)
鈴鹿市立体育館

ジャスコ 32 [17-6] 13 ムネカタ

〔戦評〕スタート直後からジャスコは東出のシュートなどで7分過ぎまで4-0で、ムネカタの初得点は7分30秒、皆川のシュートと立ち上がりが悪かった。ムネカタは攻防2人のチェンジで戦うが、

林川井出島田井田永師
〔ア〕小長今東勝福山川飯徳土
〔プ〕0036350210072
得 29 (2)

GK [審・久保] FP [審・池田] PT

〔工〕林川井出島田井田永師
〔ア〕小長今東勝福山川飯徳土
〔プ〕0036350210072
得 29 (2)

戻りの遅さとポストの守りの悪さが随所に出て、時間の経過とともに点差は開いていった。

得0007103010001
〔工〕影崎橋川野野井藤子上妻根
〔ア〕山山高皆上菅椋遠庄村吾藤
〔プ〕008425401512
得 32 (4)

第6週第1日(2月22日)
批把島スポーツセンター

ジャスコ 19 [9-8] 19 ブラザー工業

〔戦評〕立ち上がりから両チームともにミスが目立ちなかなか得点チャンスが生まれぬ。ジャスコは中盤から速攻を主体とした攻撃で主導権を握ろうとするが、ブラザーも野田のカットイン、負傷をおして出場した荒木のロングで反撃。前半をジャスコの1点リード

〔工〕多住永栗田江斐藤木中好
〔ア〕喜西荒末小野藤甲進高畑三
〔プ〕0050242130011
得 19 (1)

GK [審・清水] FP [審・内藤] PT

〔工〕林川井出島田井田永師
〔ア〕小長今東勝福山川成徳
〔プ〕0044032310006
得 19 (3)

で折り返す。後半に入っても一進一退の展開となったが、この試合に勝つか引き分ければ2位を確保できるブラザーは一時3点までリードを広げる。粘るジャスコも林の活躍で得点、結局19-19でゲーム終了。

〔工〕保田尾田塚中田口田井
〔ア〕久山永許和高田飯山吉武
〔プ〕000350133210002
得 17 (2)

第6週第2日(2月23日)
東京体育館

ソニー 19 [8-9] 17 JUKI

〔戦評〕JUKIが許田のカットインで先制。永尾のロング、関の速攻で加点し3-0とリードする。しかし、ソニーも相手のミスから速攻を重ね7分に3-3の同点に追いつく。その後互角の展開でJUKIの1点リードで前半を終る。後半開始早々、ソニーが追いつく。その後再び一進一退の展開が続いたが、24分にソニーが16-15と逆転に成功、JUKIもいったんは追いついたが、ソニーは藤元の速攻、林のポストシュートで突き放し勝利を収めた。

GK [審・阿部] FP [審・安食] PT

〔工〕保田尾田塚中田口田井
〔ア〕久山永許和高田飯山吉武
〔プ〕000350133210002
得 17 (2)

〔工〕元尾山山住谷木光
〔ア〕藤永平安林飯桑荒徳
〔プ〕4222461100000
得 19 (0)

もっと大きな声で 夢を語りあいたいな

夢を語るときの瞳は、
いつもキラキラ輝いています。
夢を、未来を、カタチに変える、
そんな新時代への冒険心を
大同特殊鋼は大切にしたいと思います。
夢を語りあいたい……あなたと。

“With You”



本社 〒460 名古屋市中区錦1-11-18 (興銀ビル)

TEL (052) 201-5111

支社 東京 / 支店 大阪

スパーシュートを見せてほしい。

踏み付け部エッジの傾斜が、スパイラルソールが、そしてαゲルが、果敢な攻撃を可能にする。



品名 スカイハンド® ジャパンα-S 品番 THH 711

メーカー希望小売価格 ¥15,500 (消費税抜き)

カラー/ ●ホワイト×レッド・マリンブルー ●ホワイト×マリンブルー・レッド

サイズ/22.5-29.0cm



ASICS



ASICS 1005

アシックスは
オリンピックキャンペーンの
オフィシャルスポンサーです。

asics
ATHLETIC SHOES

株式会社 アシックス

●商品についてのお問い合わせは株式会社アシックス消費者相談室までどうぞ。〒650 神戸市中央区港島中町7丁目1番1号 TEL (078) 303-2233 (専用)・(078) 303-3333 (大代表)
〒130 東京都墨田区錦糸4丁目10番11号 TEL (03) 3624-1814 (専用)・(03) 3624-2221 (大代表) ●ASICSは®アシックスの登録商標です。

各地の大会結果

東北

全国高校選抜青森県2次予選

(1月11、12日/野辺地町立体育館)

〈男子〉

▽リーグ戦

野辺地 18 | 18 青森南

青森商 41 | 4 三本木

野辺地 28 | 1 三本木

青森商 28 | 11 青森南

青森南 19 | 10 三本木

青森商 23 | 14 野辺地

(順位) ①青森商②野辺地③青森南④三本木

〈女子〉

▽リーグ戦

今別 16 | 14 青森商

今別 24 | 4 青森東

青森中央 27 | 5 青森東

青森中央 27 | 10 青森東

青森商 22 | 6 青森東

青森中央 25 | 11 今別

(順位) ①青森中央②今別③青森商④青森東

群馬県高校新人大会

関東

(12月23、24日)

〈男子〉

▽Aリーグ

(順位) ①富岡②高崎東③桐生工

④前橋育英

▽Bリーグ

(順位) ①下仁田②玉村③桐生④高崎工

▽Cリーグ

(順位) ①吉井②富岡実③藤岡④前橋商

▽Dリーグ

(順位) ①前橋②藤岡工③大田市

▽決勝1位リーグ

富岡 26 | 9 下仁田

吉井 38 | 16 前橋

富岡 36 | 5 前橋

吉井 25 | 17 下仁田

富岡 23 | 10 前橋

下仁田 25 | 14 前橋

▽2位リーグ

高崎東 21 | 8 玉村

富岡実 37 | 7 藤岡

高崎東 28 | 12 藤岡

富岡実 35 | 17 玉村

富岡実 25 | 16 高崎東

玉村 21 | 20 藤岡工

(順位) ①富岡②吉井③下仁田④前橋

▽Aリーグ

〈女子〉

(順位) ①桐生西②桐生女③下仁田④前橋商

▽Bリーグ

(順位) ①吉井②高崎東③富岡実

④高崎市女

▽Cリーグ

(順位) ①群女附②太田市商③高崎女

▽決勝1位リーグ

吉井 15 | 9 桐生西

群女附 13 | 8 吉井

群女附 30 | 14 桐生西

▽2位リーグ

桐生女 14 | 5 高崎東

高崎東 9 | 9 太田市商

太田市商 30 | 17 桐生女

(順位) ①群女附②吉井③桐生西

東海

岐阜県高校新人大会

(12月25、26日/岐阜県民体育館ほか)

〈男子〉

▽1回戦

可児 17 | 1 岐阜北

海津 16 | 9 各務原東

岐阜西工 18 | 4 各務原東

大垣工 15 | 14 各務原東

大垣南 27 | 10 岐山

大垣南 12 | 2 岐山

▽2回戦

岐阜東 18 | 10 可児

岐阜西工 29 | 13 海津

岐阜商 24 | 18 大垣工

市岐商 10 | 9 大垣南

▽準決勝

岐阜西工 8 | 5 岐阜東

市岐商 19 | 8 岐阜商

▽3位決定戦

岐阜商 12 | 11 岐阜東

市岐商 8 | 5 岐阜東

▽決勝

市岐商 13 10 | 9 岐阜西工

▽1回戦

益田 7 | 5 大垣女子

高津 17 | 5 各務原西

海津 12 | 11 各務原西

瑞浪 15 | 6 郡上

▽2回戦

養老女商 25 | 5 益田

高山 15 | 6 羽北

岐阜商 27 | 14 海津

富田女子 21 | 8 瑞浪

▽準決勝

養老女商 12 | 4 高山

富田女子 16 | 4 岐阜商

▽3位決定戦

岐阜商 10 | 5 高山

▽決勝

養老女商 17 13 富田女子

1 3 | 9 | 4 | 0 | 0 | 10 | 3

近畿

滋賀県社会人大会

(11月17日/山女子高)

ねばりは頑張り 気力は体力

医薬品



キョーレオピン

医薬品



キョーレオピンガム

効能・効果

- 滋養強壮 ●虚弱体質
- 肉体疲労・病後の体力低下・胃腸障害・栄養障害
- 発熱性消耗性疾患・妊娠授乳期などの場合の栄養補給



ワクナガ

湧永製薬株式会社

- 札幌 011(747)2166 ●東京 03(3293)3351 ●荏垣 052(971)5901
- 大阪 06(458)8901 ●広島 082(264)4116 ●福岡 092(481)7382

日本ハンドボール協会
平成4年度(1992年)事業日程表(案)

※日付の()内は予定

	全国大会	主要国内大会	国際交流(大会・遠征)
'92/ 4			
5	第33回全日本実業団選手権 (男子)5/8~10 名古屋 (女子)5/8~10 大阪		男・Nフランスカップ遠征 5/10~5/30 フランス 男・Jアメリカンカップ遠征 5/10~5/30 アメリカ
6	第17回日本リーグ前期 6/6~7/12 全国各地		
7	第12回全国クラブ選手権大会 7/25~7/27 富山	第43回五大都市体育大会 7/10~7/12 名古屋	第25回オリンピック競技会 7/25~8/9 パルセロナ
8	第5回全国小学生大会 8/上 京都 第21回全国中学校大会 8/19~8/22 福井 第43回全日本高校選手権 8/4~8/10 宮崎 第19回全国高専選手権 8/22~8/23 東京 第35回全日本教職員選手権 8/9~8/13 高松	東日本学生選手権 8/15~8/19 千葉 西日本学生選手権 8/12~8/16 大阪 国体ブロック大会 9ブロック 各地	日韓ジュニア交流(高校生) (8/24~8/30) 韓国光州 第3回男・Jアジア選手権 (8/20~9/5の間未定) 第2回女・Jアジア選手権 (8/20~9/5の間未定)
9			フランス イブリチーム来日(予定)
10	第47回国民体育大会 10/4~10/9 山形		東アジア 5カ国対抗 上海
11	第35回全日本学生選手権 11/上 愛媛		女子世界選手権予選 (11/21~12/15の間未定)
12	第44回全日本総合選手権 12/10~12/13 東京		第12回世界学生選手権大会 12/13~12/22 ペトルスブルグ
'93/ 1	第17回日本リーグ(後期) 1/15~2/28 全国各地		
2		第24回全日本実業団男子トーナメント 2/11~2/13 大阪 第3回実業団女子予選会 2/20~2/21 岐阜	全日本実業団日韓交流 関東地区 (東日本選抜)
3	第17回日本リーグ・プレーオフ 3/6~3/7 東京 平成4年度全国高校選抜 3/24~3/28 名古屋		第13回男子世界選手権 (3/10~3/21の間未定) スウェーデン

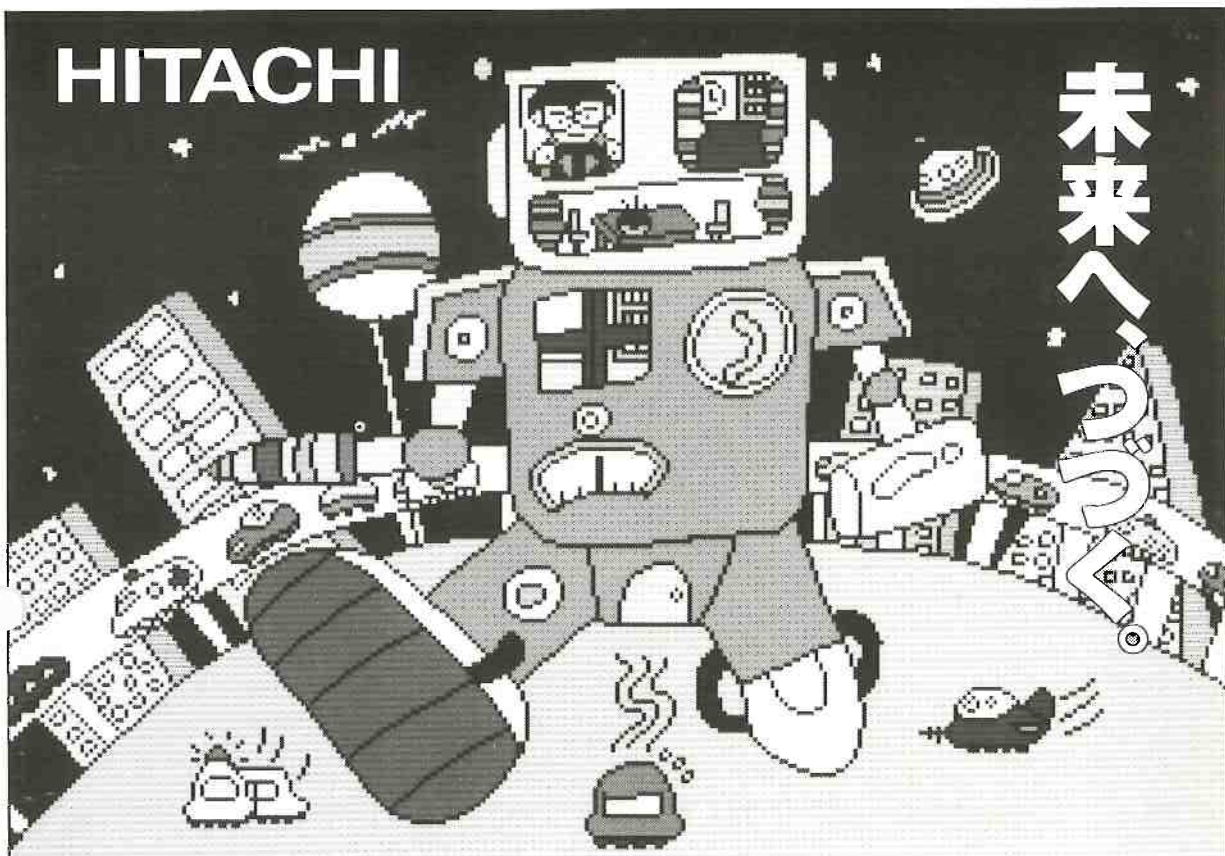
新しい時代を作ってゆくのは、
新しいひらめき。
そして、ひらめきを実現してくれる
素材が求められます。
常に新しい技術で新しい夢をかなえる
素材をお届けしてきた日新製鋼。
これからも時代に応える
新しい素材をみつめてゆきます。



明日の素材をみつめる
日新製鋼
東京都千代田区丸の内3-4-1
(新国際ビル) ☎03-3126-5511 〒100

HITACHI

未来へ、つづく。



人がいて、街があって、豊かな社会があり、快適な生活がある。
 そんな私たちの暮らしも、そう、調和をめざす技術の力で支えられているんですね。
 上の絵は、小学6年生のCG(コンピュータ・グラフィック)アーティスト、
 瀧本大介くんが描いてくれた「ロボット・ハウス」。
 おうち全体がロボットになっていて、どこにでも行けるんですって。
 次の、次の世紀くらいかな。こんなロボットが大活躍する日だって、来るかも知れません。
 夢を見る力。夢を叶える力。未来へ、つづく。日立です。

ロボット・ハウスのお通りだい。

人と技術の理想をめざす

Interface

株式会社 日立製作所

(財)日本ハンドボール協会編
『ハンドボール』

第三二八号

昭和四十年六月七日 平成四年三月二十六日
 第三種郵便物認可 平成四年四月一日

印刷 発行

東京都渋谷区神宮前(一丁目)一三六番
 電話 代表(433)二二三六一
 振替 東京六二五八三四八番

編集兼 発行人

安藤純光

定価三百五拾円
 (年間購読料 三千三百円)